



一関遊水地 陸閘操作訓練実施

平成28年6月7日(火)、洪水を想定した陸閘の操作訓練を河川管理者、道路管理者(一関市・平泉町)合同で実施しました。

当日は、「中里陸閘」「平泉陸閘」共に、非常用発電機を機動させた門扉開閉操作、全閉後の隙間等の異常確認、管理者同士の情報連絡体制の確認等を行いました。

中里陸閘



全閉確認



道路管理者との連絡体制確認



門扉の開閉点検

平泉陸閘



一関出張所長より訓練開始のあいさつ



門扉の開閉点検



全閉後の点検

※ 一関遊水地にある陸閘は普段堤防の中を横断する道路で、門扉を閉めることで洪水時には堤防と一体となって市街地への氾濫を防ぐ施設です。

樋門・樋管点検実施

平成28年6月8日(水)から一関出張所管内 47箇所の樋門・樋管点検を実施しています。雨の時期を前に、岩手河川国道事務所職員と水門等水位観測員が合同で、ゲート操作盤の確認やゲート周りの点検、操作に関する意見交換などを行います。出水期前までには全施設の点検を終える予定です。



小日形排水樋管点検



ゲートの点検



ゲート操作盤の確認

◆◆編集後記◆◆ ヒタヒタと、梅雨の訪れを感じる気候となってきました。いざという時の為にも、訓練・点検を含め、日頃からの備えが大切ですね。(や)